

## 臨床検査技師リカレント教育に向けての課題把握と 解決法の立案

著者	坂本 秀生, 田村 周二, 佐野 太亮
雑誌名	神戸常盤大学紀要. 別冊
号	16
ページ	20-20
発行年	2023-03-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1492/00001183/">http://id.nii.ac.jp/1492/00001183/</a>

## 臨床検査技師リカレント教育に向けての課題把握と解決法の立案

坂本 秀生<sup>1)</sup>

田村 周二<sup>1)</sup> 佐野 太亮<sup>1)</sup>

臨床検査技師が携わる業務は、医学・医療の発展によって量的にも質的にも著しく拡大し、業務も多様化しているため検査技師の知識・技能の質的向上が社会的にも要求されている。そのため、高等教育機関が社会人再教育を行うリカレント教育のニーズが高まってきており、その拡充が大学に寄せられる期待は大きいものである。「リカレント教育」とは、「学校教育」を人々の生涯にわたって分散させようとする理念であり、その本来の意味は「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学とフルタイムの就職を繰り返すことであるとしている。

本研究の場として2018年6月～2022年10月の現在まで、月に1回の頻度で土曜午後に、腹部・心臓・消化器・婦人科・乳腺・甲状腺等を中心とした超音波検査の基礎と臨床についてリカレントカンファレンスを実施してきた。しかしながら、COVID-19による行動制限や台風や大雪など気候の影響で、中止せざるを得ない状況が続いた。

対面式カンファレンスが行えないことをきっかけに、web開催による各種動画マニュアル教材を作成するための基盤となる資料および、検査者と患者の音声を明瞭に録音した動画の作成、オンライン公開する際のシステム構築の準備、参加者へ開催日等の講座情報や受講講座に対するアンケートを実施するwebページ作りを行った。さらに、卒業後の外国人対応にも役立つよう日本語・英語・中国語版の作成を行うなど、自己学習形式の構築を目指すことができた。

---

1) 保健科学部医療検査学科